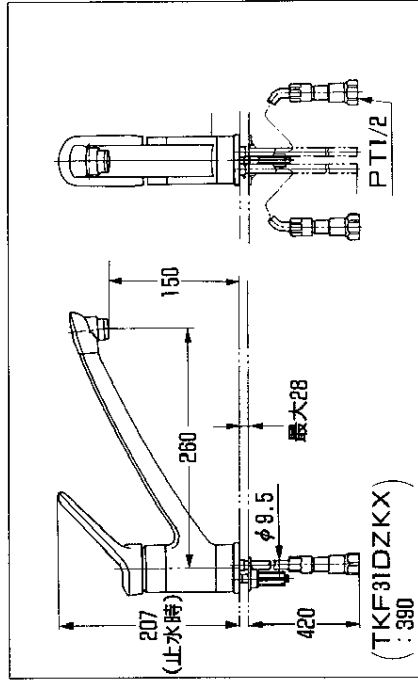


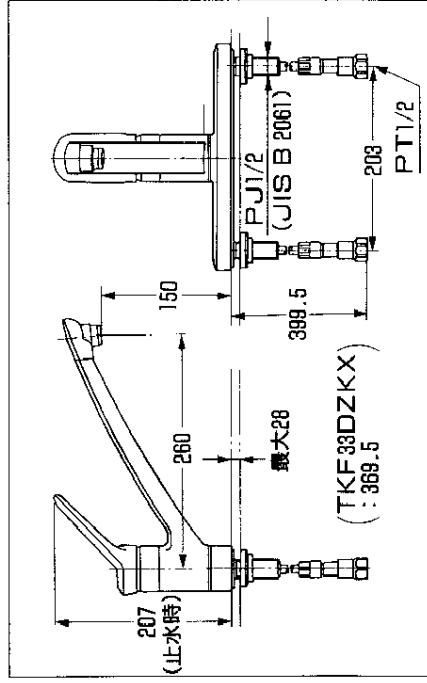
“ニューファミリーシリーズ”メタルタッチ接続式 シングルレバー混合栓取付説明書

完成図

TKF31DX, TKF31DZKX
(一般用) (寒冷地用)



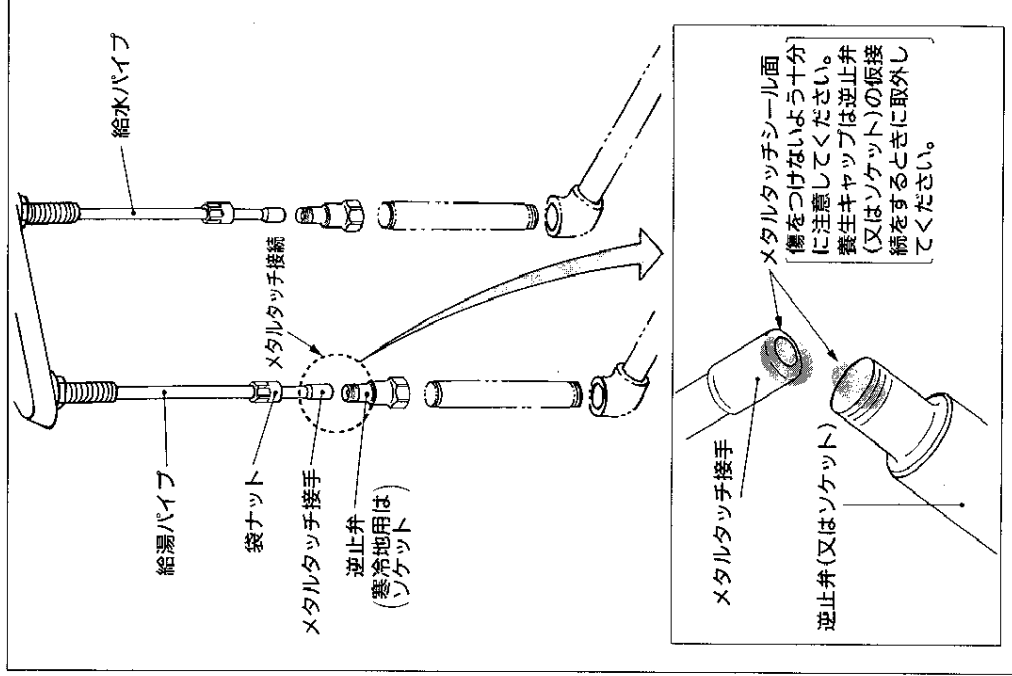
TKF33DX, TKF33DZKX
(一般用) (寒冷地用)



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

注意 この製品は、施工誤差を吸収するために給水・給湯パイプを切断することはできません。配管の際は寸法図をご覧ください。十分注意して配管してください。

配管接続部詳細



使用条件

1. 使用水压

(1) 瞬間型給湯機と組み合わせる場合

給湯圧力 { 最低必要水压………(表参照)

{ 最高水压………0.74MPa { 7.5kgf/cm² }

(設定条件)

- レバーハンドルは全開
- 吐水温度：38℃
- 給湯配管長さ：5 m
- 給湯機が着火する下限の圧力とする
- 水温の高い(25℃)夏期に着火させることを想定
- 能力手動切替タイプの出湯温度は最高温度に設定
- 比例制御タイプの出湯温度：60℃

※能力手動切替タイプで水温が高く着火しにくい場合は、能力を小さく切替えると着火しやすくなります。

器具入口部における最低必要水压 (MPa (kgf/cm²))

給湯機タイプと号数	最低必要水压
能力手動切替タイプ	A+0.39(4.0)
TOTO	
カスタム	0.06(0.6)
制御方式	
20号	0.07(0.7)
TOTO	
16号	0.05(0.5)
トリコン	
制御方式	
24号	
(トリコン)	
・コンタクト	
・アクティ	
スーパーアクティ	0.04(0.4)
32号	0.05(0.5)
TOTO	
イトリコン	
制御方式	
24号	0.04(0.4)
TOTO	
コマンド	
24号	0.06(0.6)
24号	0.05(0.5)
TOTO	
ハイコマンド	
21号	0.04(0.4)
24号	0.04(0.4)

注) 表中のAは給湯機の最低作動水压を示します。

(比例制御タイプにはこの数値が含まれています。)

(2)貯湯式温水器と組合わせる場合

- 給水・給湯圧力 { 最低必要圧力…0.05MPa (0.5kgf/cm²)
最高圧力 { 最高圧力…0.74MPa (7.5kgf/cm²) }
- (3)給水・給湯圧力はできるだけ同圧になるようにしてください。

- 給湯に蒸気を使用しないでください。
- 湯・水を逆配管しないでください。

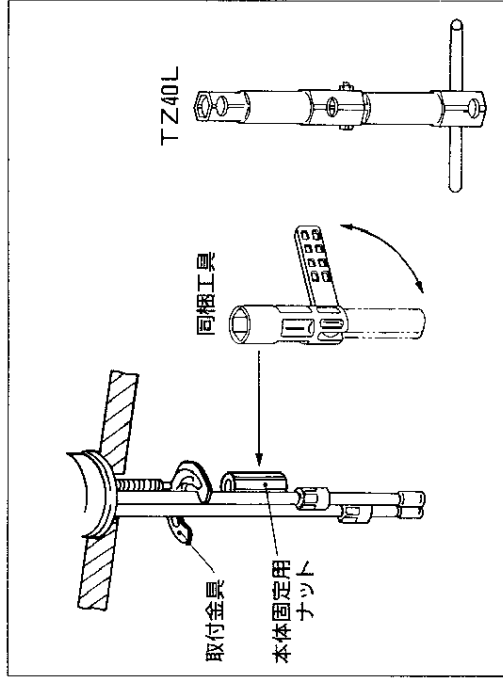
給水パイプには◎ラベルを、給湯パイプには⊕ラベルを張付けています。(TKF31DX、TKF31DZKXのみ)
なお給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

器具の取付け

- 給水管内の清掃
器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
- 混合栓本体の仮固定

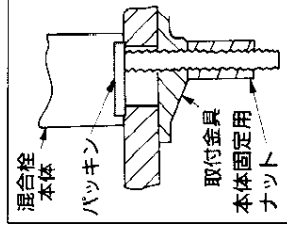
TKF31DX、TKF31DZKXの場合

混合栓の仮固定は取付け周囲の汚れをとり、同梱工具又は別売の締付工具(TZ40L)を使用して締付けてください。



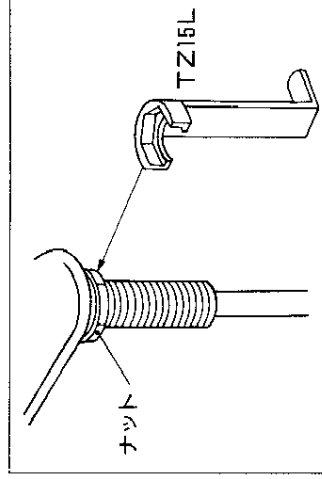
※混合栓本体を固定する際、本体下のバックキンの取付位置をまちがわないように注意してください。

※水栓を固定する際、取付穴が水栓本体の中心にくるように取付けてください。



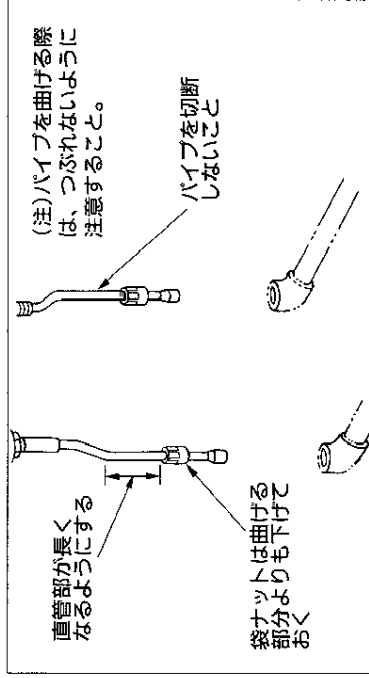
TKF33DX、TKF33DZKXの場合

混合栓本体の仮固定は、取付穴周囲の汚れをとり別売の締付工具(TZ15L)を使用してナットを締付けてください。



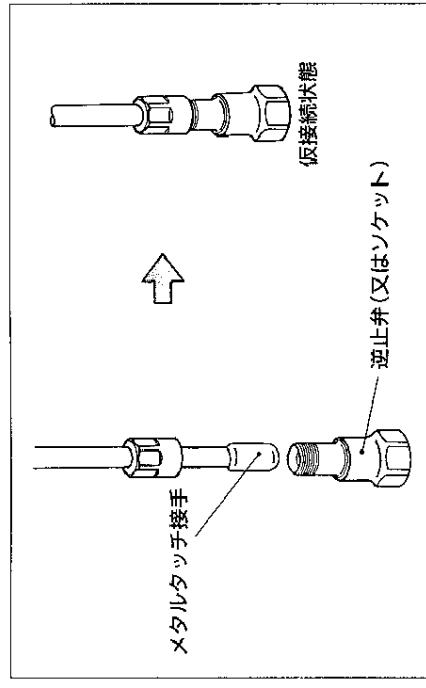
- 給水・給湯配管との心合わせ

混合栓本体の給水・給湯パイプを曲げて、給水・給湯配管の心に合わせてください。



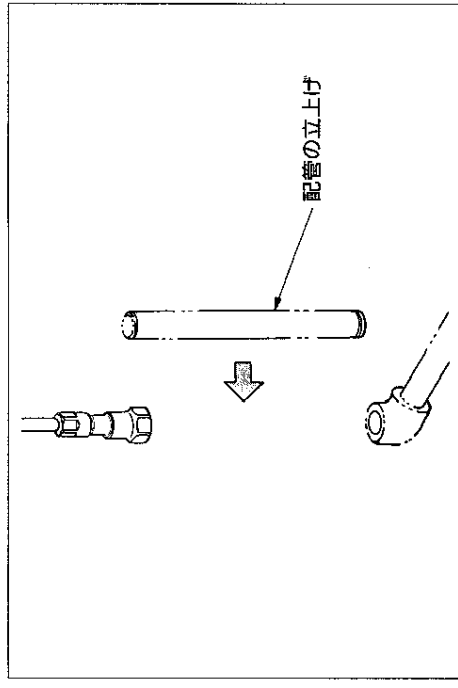
- 逆止弁(又はソケット)の仮接続

メタルタップ接手及び逆止弁(又はソケット)についで養生キャップを取外したのち、仮接続をしてください。(養生キャップは回しながら外すと、容易に取ることができま



- 配管の立上げ

逆止弁(又はソケット)までの寸法を当り、配管を立上げてください。

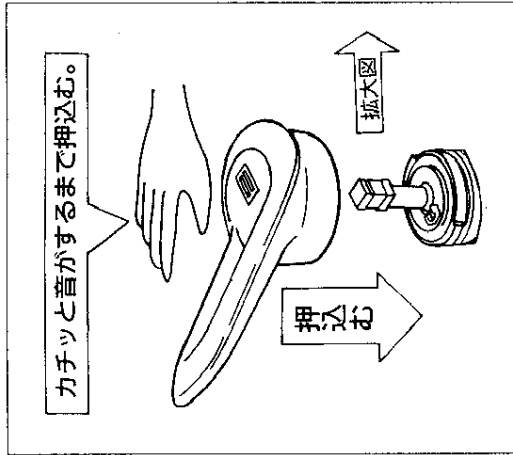


- 逆止弁(又はソケット)の本固定

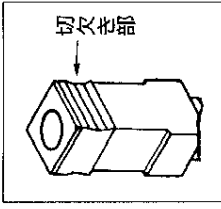
仮接続していた逆止弁(又はソケット)を取外し、立上げた配管にねじ込み、固定してください。

ハンドルの取付要領

このハンドルは、ワンタッチで取付けることができます。



注意



レバーハンドルとレバーの切欠きとの方向性に注意してください。正面からみてレバーの切欠きは、両サイドにあります。万一方向をまちがえて取付けた時は、ハンドルを一度引抜いて方向を合わせて再度押込んでください。
最後に、ハンドルが容易に抜けないことを点検してください。
※品番によって図と現品の形状が一部異なることがあります。

使用上の注意

この商品は、ウォーターハンマー低減機構を採用しております。
レバーハンドルを早く操作しようとする、抵抗感が発生し重く感じることもありますが、ありません。
レバーハンドルがロックして水が止まらなくなった場合は、一度全開にして再度ゆっくり開けて下さい。

寒冷地用水抜方法

寒冷地用の場合は器具内の水を抜くため、水抜コックを設けておきます。凍結のおそれのある時期に施工された場合は、水抜栓の操作とあわせて次の要領で水抜きをしておいてください。また、お客様にも水抜方法をご指導ください。

(水抜手順)

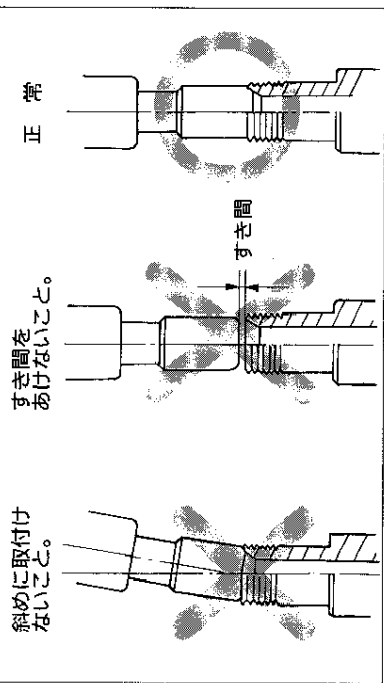
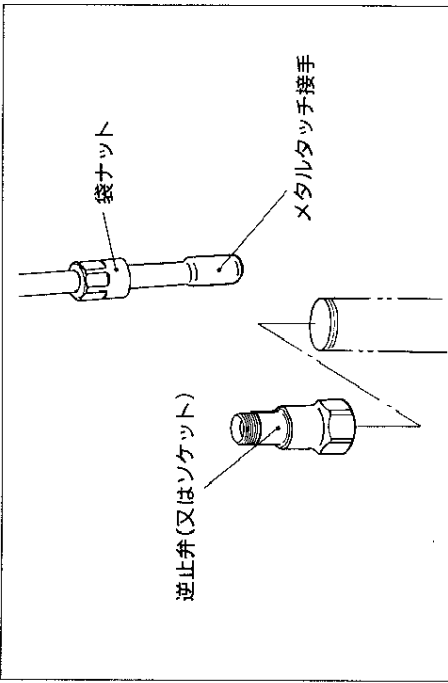
- レバーハンドルを中央位置(湯側・水側の中間)で下げる。
- 水抜コックを開く。

お手入れ

器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご指導ください。

- ふだんは柔らかな布でふき、ときどきミネシム油やカーワックスなどをしみこませた布でふくこと。ただし、樹脂部に付着すると光沢を失うので付着しないよう十分注意すること。
- クレンザーやみがき粉など粗い粒子を含んだ洗剤やナイロンたわしなどは使用しないこと。
- 酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないこと。もしタイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分水洗いすること。

7.メタルタッチ接手の接続
メタルタッチ接手を逆止弁(又はソケット)に正しくあてがい、袋ナットを十分に締付けてください。



8.混合栓本体の本固定
同種の締付工具 (TKF310X, TKF31DZKXのみ) 又は、別売の締付工具 (一穴シングルレバー混合栓: TZ40L、二穴シングルレバー混合栓: TZ15L) を使用して混合栓本体をしっかり固定してください。

分解と点検

取付後、万一故障した際は、次の要領で分解および点検を行なってください。

ご注意

バルブ部カートリッジ内部は精密加工された特殊セラミックバルブを組立調整しておりますので、絶対に分解しないでください。

故障と その点検	現象	点検項目
吐水量が少ない。		1
水が止まらない。		2、3、4、5
吐水温度不良		1
ハンドルがガタつく。		6

点検時の注意

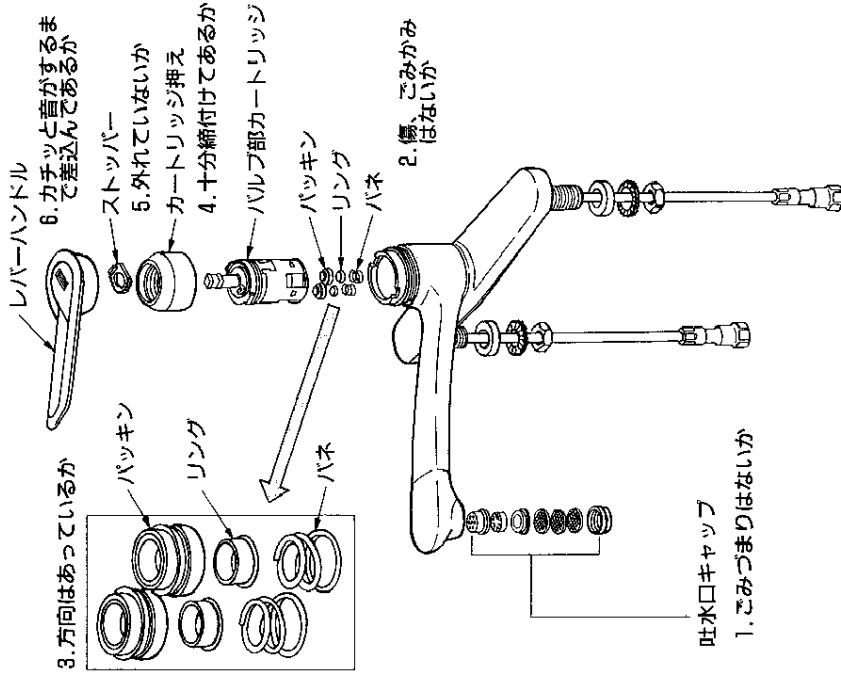
カートリッジ押えは、手締めに締め付け、工具は使用しないで下さい。再セットされる際に、ストッパーを組込む時は、カートリッジ側凸部とストッパー側凹部を合わせて押込むこと。その際カートリッジ押えの内側の歯と、ストッパーの外側の歯が合わない時は、カートリッジ押えを締め込む方向にて、歯を合わせる様に調整して下さい。

工具について

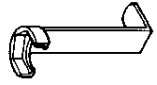
施工時に、締付工具(TZ40L)がない場合、下記の一般工具でも取付けは可能です。但しTKF310X,TKF310ZKXのみ

- (1)ソケットレンチ (対辺13mm用)
- (2)T型レンチ (同上)
- (3)ナットスピナーハンドル (同上)

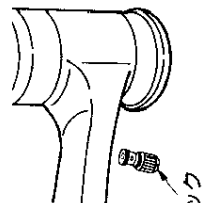
TKF33DX, TKF33DZKX



締付専用工具(TZ15L)

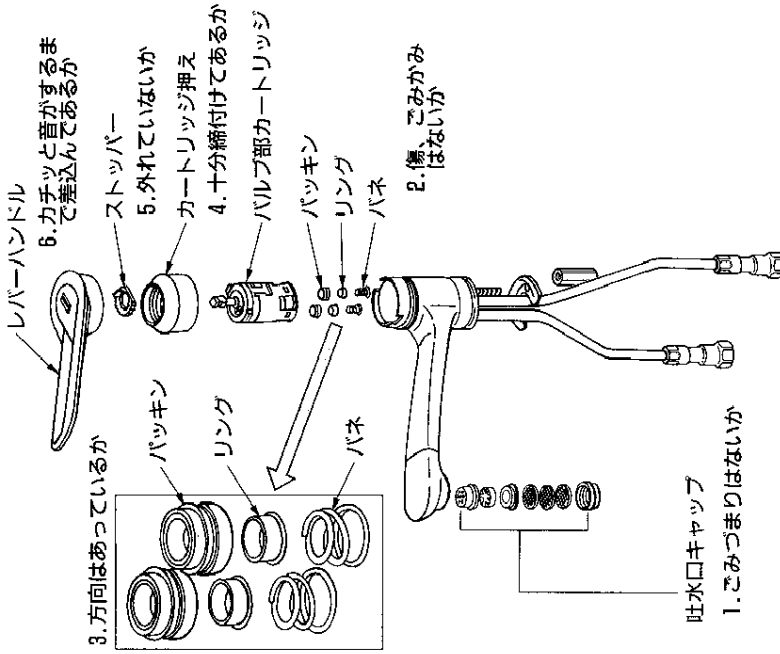


寒冷地用

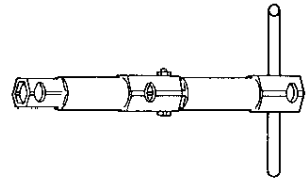


水抜コック

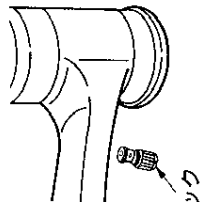
TKF310DX, TKF310DZKX



締付専用工具(TZ40L)



寒冷地用



水抜コック